



推進協だより

2020年8月号

発行；藤沢市瀬郷1008-1

光友会事業推進協議会 事務局

「光友会事業推進協議会」って何？（略称；推進協）

光友会を支える後援会です。この会に思いを寄せた先輩達が、思いを込め、考え抜いた名称です。施設入居者・利用者である当事者、当事者のご家族、役職員、さらに地域住民も対等な立場で会員登録をされています。それぞれの立場の垣根を越えて、本音で話せる場をつくり、さらに、会員相互が光友会の「福祉感」を共有し、「福祉観」に意識を広げ、地域社会へも福祉展開を広げていく。光友会を支えるサポーターとして、多くの方々の会員登録を心よりお待ちしております。

光友会事業推進協議会
会長 村瀬 道雄

事務局としましては出来る限り、会員の皆様に迅速に情報発信ができるように、企画運営会議の開催の都度、発行を目指していきたくと思います。会員の皆様のご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

今号では、以下の内容で報告させていただきます。

去る7月20日3役会議（会長、副会長、調整役）を開催し、コロナウイルス感染症下での取り組みをどのようにしていくかが話し合われました。続いて7月30日には、前回出されました課題について整理のため推進協としては始めてWEB会議による3役会を行いました。概要について本号にてお知らせいたします。

1. 3役会が出された課題と対応について

① 推進協役員の役割の明確化

- ・コロナ時代への対応のため、一同に会すことによる感染症へのリスクを回避するための方策を考慮し、会議体の機能と運営方法について明確化していく。

- ・具体的には WEB 会議方式と書面での会議とする。
- ・会議体を以下のように機能分けすることを提案し、赤字部分意見を追加した。

3 役会；推進協各事業の方向性の検討と提案（WEB 会議月 1 回程度実施）メンバーについては、会長、副会長 2 名、調整役の 4 名で構成

5 役会；各事業についての方向性の共有及び日常業務運営についての確認（WEB 会議 3 月に 1 回程度）メンバーについては、3 役会メンバーに会計担当、会計監査 2 名ずつ、事務局 1 名の 9 名で構成

企画運営会議；行事の運営等についての確認及び事業所内の取り組み報告（書面による開催とし、**5 役会議後すぐ実施**）

職員部会長が利用者、家族部会長へ説明することとする。

メンバーは 5 役会議メンバーに各事業所利用者部会長、家族部会長、職員部会長、市民部会長の 28 名で構成

代議員総会；総会での意見反映（年 1 回）

【継続検討課題】

- ② 各部会への推進協活動の理解度促進について
- ③ 情報共有について
- ④ その他
 - ・将来に向けての後継者づくり（後任）をどうするか？

7 月 30 日の WEB による初めての 3 役会議の様子



画面左下が村瀬会長、左上が眞鍋副会長、右上が松井副会長、右下が一杉調整役

2. 推進協への加入状況について

7月30日までの加入状況と会費納入状況をお知らせいたします。昨年度実績に比して金額で10万円ほど到達していません。引き続きご加入をお願い申し上げます。

A. 現金での納付総額： 345,000円（91人）

B. 郵便振込での納付総額： 808,000円（193人）

合計：1,153,000円（284人）

※今号では、総会議案でありました2019年度事業報告並びに収支決算書・会計監査報告書及び2020年度事業計画・収支予算（案）を付け加えました。前回では紙面の関係などから概略説明とさせていただきました。

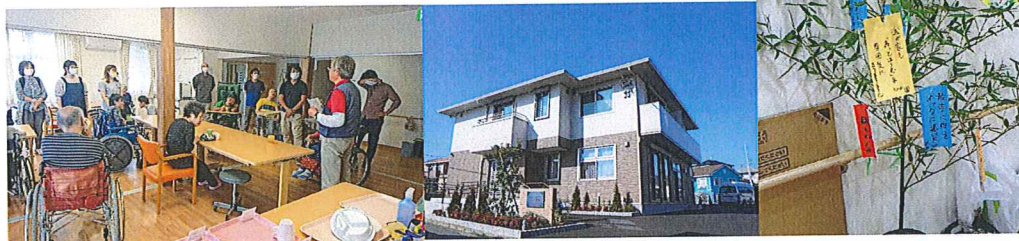
3. 事業所紹介（詳しくは、光友会ホームページをご覧ください）

今年度から、新たに推進協に参加することになりました事業所を紹介していきたいと思えます。今号では、グループホーム「湘南あつとほーむひだまり」と寒川事業所を掲載いたします。

【グループホーム湘南あつとほーむひだまり】

今年、1月に開所したばかりの事業所です。利用者の方々の中には、湘南希望の郷から引越された方や、新しく入居した方などで19名の方々が暮らしています。

6月2日には初めての防災訓練、また、7月7日の七夕では利用者の皆さんによる七夕飾りなど、暮らしを豊かにする取り組みも行われています。職員も24時間体制で対応し、安全と安心が感じられる事業所として活動を続けています。



写真左から初めての防災訓練の様子、ひだまり全景、皆さんで作った七夕飾り

【寒川事業所】

就労福祉部の拠点の一つとして3年前に開所しました。現在利用者は、15名程度となり、いろいろな就労の形をとれることを強いとして活動を進めています。

その一つが「ノウフク連携」の取り組みです。寒川事業所は、食堂事業と、弁当事業が主な取り組みでしたが、そのほかにも軽作業なども取り組んでいました。今年度に入り、地域の農家との連携から、大規模園芸農家やコメ農家などからお話があり、現在多い時で6名程度の利用者がノウフク連携に携わっています。初めて入る田圃では、足を取られてうまく

動くことができないなど四苦八苦といった感じでしたが、しばらくすると皆さん楽しそうに田んぼの中を動き回れるようになりました。寒川に行った際は、ぜひお立ち寄りください。駅から歩いて3分程度の至近距離です。

写真上段左が寒川まち食堂、右がまちのお弁当屋さん



写真下段左右が園芸農家での肥料やり（いずれも利用者の方々）

4. 行事関係について

・9月に予定しておりました、「希望寄席」につきましては新型コロナウイルス感染症の影響から中止とさせていただきます。観客数の半減等、諸対応の規制がかかったため運営が難しい状況となりました。

・村祭り（これまでは8月に開催）につきましては、11月14日（土）に予定しております。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながらの開催判断になります。

【編集後記】

新型コロナウイルス感染症の影響から20年度の総会は皆様方のご理解とご協力のもと、書面総会といたしました。無事、議案すべてがご承認いただき新年度の活動に入ったわけですが、コロナの影響から、その後の会議体も思うように開けずに時間だけが過ぎてしまいました。今回は、いろいろな工夫をしていくための第一歩として、まずは、3役からWEB会議に挑戦しました。事前準備では音声が出ないなど小さなトラブルがありましたが、コロナに負けない丈夫な体（推進協）で行きたいと思います。（記：ひとすぎ）